



956人が来場した日東工業の  
内覧会福岡会場

中国・九州地区  
を担当する同社西  
部営業部の広川義  
郎部長は「市場二  
ーズに合った『電  
設・電材』『FA  
・制御』『情報通  
信』の3分野で新  
商品をご提案させ  
ていただいた。多  
くのお客さまに來  
場いただき、盛況  
を報告することができ  
た。市況は厳しい状況だ  
が、今回の内覧会で新たな  
需要の取り込みを図りた  
い」と語った。

需要増に対応する。  
現在、シー・ヴィ・エス  
・ベイエリアのサンクス主  
要店舗10店で商圈分析や市  
場調査を兼ねて回収BOX  
を設置している。10店で  
は、エコリカ製品の販売も  
行っている。BOXは簡易  
版を置いているが、今後は  
カウンタでも設置可能な特  
別版で対応する。

### 福岡市早良区 白道浜に移転

サン・マイク  
口九州支社

ン」「キャビネット選定方  
イド・穴加工サイト等ホー  
ムページ機能のご紹介」を  
テーマにし、2日間で約2  
500人が聴講した。

【福岡】サン・マイクロ  
システムズ九州支社（坂井  
俊郎支社長）は、九州の情  
報産業活性化、地場企業と  
の協業によるビジネスチャ  
ンスの拡大、地元で活動す  
るコミュニティ支援などを  
5月から事務所を移転し、  
このほど完了した。

### インクカートリッジのリサイ

クルを展開する大阪のエコリカ

### コンビニに回収ボックス



宗廣社長

する。「サンクス」FCの  
シー・ヴィ・エス・ペイ  
リア（千葉県浦安市、泉澤  
豊社長）の主要店舗で6月  
20日から回収ボックスを設  
置。7月末までにFC全店  
（133店舗）で回収ボッ  
クスを設置する。

同社の回収カートリッジ  
に対する再資源化率は約99  
%。7割以上をリユース、  
リデュースしているが、残  
りの部分をペレット化で対  
応し再資源化率を高めてい  
る。宗廣社長は「再利用が  
難しいインクカートリッジ  
のマトリアルリサイクルの  
取り組みも強化し、再資源  
化率はエコマーク取得の基  
準を大きく上回った。研究

インクカートリッジのリ  
サイクル事業を展開するエ  
コリカ（大阪市浪速区、宗  
廣宗三社長）は、コンビニ  
エンスストアでのインクカ  
ートリッジ回収事業を展開

しているのは1800万個。  
サンクスでの回収BOX設  
置でインクカートリッジの  
回収率を向上させた。研究  
開発などコストや時間はか  
かるが各所が認めるリサイ  
クルカートリッジを進めて  
いきたい」と話している。

同社は、東海移動無線セ  
ンター主催のセールスマン  
大会で、05年度から07年度

「Ruby」を連携させる  
「JRuby」を推進して  
いる。中田明支社長代理は  
「進出して以来、地域に根  
付いて認知度も高まった。  
さらに、新しい言語に対し  
て福岡県など行政も積極的